

1 教育目標

(1) 校訓： 自治・奉仕

(2) 教育目標： 豊かな心と自ら学ぶ意欲をもち
社会の変化に対応できる青少年の育成

- ① 意欲的に学習する生徒
- ② 心身ともに健全な生徒
- ③ 自主的で実践力のある生徒

2 本年度学校教育の努力点とその推進計画

(1) 名古屋市学校教育の努力目標

なかまと学び 夢を創る

- すべての子どもに対し、一人一人に応じた個別最適化された学びを提供し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を推進する。
- 子どもがキャリア教育を含む多様な学びを通して自分のよさに気づき、夢を抱き、その実現に向かって自他を大切にしながらたくましく生きることができるようにする。

(2) 学校努力点

自他を認め合い 学び合う生徒の育成

<努力点設定の理由>

本校では、「自他を認め合い 学び合う生徒の育成」を努力点として、自らの考えをしっかりと発信・発表できる生徒、相手の発言をしっかりと傾聴することができる生徒、自他を大切にできる生徒を育てたいと考え、取り組んできた。その結果、学習指導では学力調査等の結果から、基礎・基本が定着している生徒が増えてきたことが分かった。また、授業の様子から、落ち着いて授業に取り組み、自分の考えをもち授業を受けることや先生の話や級友の発言を聞くことはできていると感じる。しかし、自分の考えを自信をもって発表することや仲間の考えを傾聴し、自分の考えを深めることはまだ十分とは言えない。そこで、基礎・基本の定着を図りつつ、めあてをもつ場面と仲間と対話する場면을工夫することで、自分の考えをしっかりと発信・発表でき、相手の発言をしっかりと傾聴し、自分の考えを深めることができる生徒の育成を目指していきたい。

学校生活では、学校教育に関するアンケート結果から、ほとんどの生徒が思いやりの気持ちをもって楽しく学校生活を送っていることが分かった。また、自分を大切に生活していることも分かった。しかし、自分が周りに認められていないと感じている生徒も少なくない。そこで、道徳科の授業や毎日の学校生活、行事などを通して、自己肯定感を高めることやカウンセリングマインドを身に付けることで、自他を大切にすることができる生徒の育成を目指していきたい。

そこで、本年度は「自他を認め合い 学び合う生徒の育成」を努力点のテーマとして、「自らの考えをしっかりと発信・発表できる生徒」、「相手の発言をしっかりと傾聴することができる生徒」、「自他を大切にできる生徒」を育てたいと考えた。そのため、

◎ 学習指導では、

- ・ ICTを活用するなど生徒のやる気を引き出し、スモールステップを取り入れることで、基礎・基本を定着させ、自分に自信をもち考えをもつことができるようにする。
- ・ なかまなビジョンの学習過程(めあてをつかむ→自分の考えをもつ→仲間と対話する→まとめる→振り返る)のめあてをつかむ場面を工夫し、自分の考えをもたせることで、自分の考えをしっかりと発言することができるようにする。また、仲間と対話する場面を工夫し、相手の発言を傾聴し、自分の考えを深めることができるようにする。

◎ 学校生活では、

- ・ 朝や帰り、授業の始まりや終わり、人に会った時など、いつも自分から挨拶することを心掛ける。
- ・ 道徳科の授業や毎日の学校生活、行事などの場面で、認め合う活動を多く取り入れることで、自己肯定感を高める。また、カウンセリングマインドを身に付け、相手の発言にしっかりと耳を傾け、思いやりの気持ちをもって学校生活を送る。

(3) 実践計画

	内 容
4月	学校努力点の決定、各部の指導方針等の検討・立案
5月	全校一斉道徳、各部会での推進計画等の検討・立案、
6月	授業実践①、全学級道徳での授業参観、1学期の反省
7・8月	研修会への参加等
9月	授業実践②、2学期の取り組みの検討、全校一斉道徳
10月	授業実践③、中間報告検討、各教科での授業参観
11月	授業実践④、努力点中間報告会、2学期の反省
12月	授業実践⑤、全校一斉道徳
1月	授業実践⑥、3学期の取り組みの検討、全校一斉道徳、 学校評価アンケート実施・集計・分析
2月	授業実践⑦、総合的な学習での授業参観 本年度の反省と次年度への課題確認、年度末反省会 努力点のまとめ検討
3月	努力点のまとめ報告会

(4) 努力点推進のための組織

